

2023年度福智中央保育園における保育事業における自己点検・自己評価

✿本年度の本園の保育・教育全般を総合的に評価し、次年度の保育計画に生かせることを目的として記入する。

A：たいへんよい B：よい
C：一部検討を要する D：改善を要する

【記入方法】

・ A、B、C、Dの4段階評価

◎保育の計画の編成と実施に関する評価

項目	内 容	評 価				意見・改善策
		A	B	C	D	
保育目標について	(1) 保育目標の具体化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定している。	○				<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育目標は、職員全員で保育事業計画を作成し、合同研修会や職員会議等で共通理解を図ってきた。 ・ 目標は前年度の総括を踏まえたうえで計画に生かすようにしている。 ・ 民営化5年目で、法人の保育目標を基本にして、保育指針の具体化を3施設合同で主任保育士を中心に担当者を配置して保育指針の見直しを行い来年度から活用できる予定になっている。
	(2) 目標は各施設や地域の特性を生かしているか	○				
	(3) 目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか		○			
	(4) 目標は前年度の反省を生かしているか	○				
	(5) 目標は全職員で検討し、且つ共通理解を図っているか	○				
保育について	(1) 指針計画は乳児の実態に即して作成しているか	○				<ul style="list-style-type: none"> ・ 指導計画については、毎月職員会議にて、各年齢ごとに保育実施の評価し、課題についても全職員で共有し改善を行ってきた。 ・ 特に援助、支援が必要な園児、家庭が増えてきているので、これまで以上に連絡を密にして関係機関と連携しながら必要な支援を行っている。 ・ 各保育室に遊びのコーナーなどを設置し、各年齢に合った遊具を設置し、一人一人が、落ち着いて遊べる環境づくりを行ってきた。 ・ 夕方の混合時間帯や、延長保育時間での環境設定がマンネリ化してきている為、改善が必要（少人数で遊べる環境設定）
	(2) 保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っているか。	○				
	(3) 環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか		○			
	(4) 素材・用具を適切に活用しているか。		○			
	(5) 評価結果をもとに、保育の改善に努めているか	○				
日時程	(1) 1日の流れ(デイリープログラム等)は現行でよいか	○				・ 各年齢に合わせたデイリープログラムで保育を行っている。
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か		○			<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナが5類に移行になってことで、大きな行事（お泊り、夏祭り、運動会、発表会、卒園式、）については、これまでのような人数制をせずにコロナ禍以前に近い形での取り組みができてきて保護者からも喜ばれている。。 ・ 行事ごとに計画書を作成し、実施後の評価・改善点等職員会議で共有するようにしている。
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか	○				
	(3) 乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか。		○			
	(4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか	○				
	(5) 保護者の願いや意見を取り入れているか。	○				

経営	分掌・体制	(1)能動的、合理的な運営組織になっているか	○			・事務分掌については毎年見直しをし、仕事内容と必要な分掌を設定し、複数で配置することで協力しながら遂行できるようにしている。 ・係りや仕事分担については偏らないように運営委員会で検討してから、職員会議で職員に下している。
		(2)業務内容が明確で、共同できる内容になっているか	○			
		(3)職員の配置は適材適所か。	○			
		(4)係や仕事の分担・割り当ては適切か	○			
運営	(1)各種会議を適切且つ効果的に進めているか		○		・園運営を行う上で、運営委員を配置し職員会議内容の検討や、運営上の問題点などを集団で話し合い進めている。 ・乳児・幼児会議はリーダーが担当しその内容については、文章化し職員会議にて全職員で共有するようにしている。 ・今年度もクラス会議を月の前半、後半と2回設定するようになっているが後半に、日程を入れるのが難しく設定できない時が多かったので会議の見直しが必要。	
	(2)職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しみなく施設の運営にかかわっているか。	○				
	(3)打合せ回数、時間、内容は適切か。			○		
組織	年齢別・クラス経営	(1)年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定しているか	○			・毎月末にクラス会議を行い、保育の総括を行い次月への課題を明らかにし、職員会議の場で保育の共有を図っている。 ・長期的には、年間計画を4期に分けて設定し、期ごとに各年齢での総括・評価を行い見直しを行っている。 ・コロナ感染対策の観点から、異年齢間の活動は制限し、クラス別保育に重点を置いた活動になった。 ・後半、幼児クラスについては、2クラス合同でのリズム運動や、散歩など小規模での異年齢活動を工夫して行ってきた。
		(2)年齢別クラス目標は、乳幼児の実態に即した設定をしているか。	○			
		(3)年齢別クラス目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定しているか。	○			
		(4)同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。			○	
		(5)意義や趣旨を理解したチーム保育を行っているか。		○		
		(6)評価、資料(諸記録)を集積しているか。		○		
保健・安全指導	保健・安全指導	(1)年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じているか。	○			・今年度は交通安全協会から交通安全教室を開いてもらい、横断歩道の渡り方や、散歩中の注意することなど安全に関することで園児に指導してもらったことで交通ルールを守ることの大切さを知らせることができた。 ・毎月、園だよりと合わせて保健だより発行して、季節の病気や感染症などの注意喚起を保護者に行ってきた。 ・毎日、ヒヤリハット記入の用紙を全クラスに回覧し、安全対策を行っている。安全管理懇談会において、散歩コースや園舎内外の安全点検行い、保護者から貴重な意見をいただき、散歩する際に安全旗を使用するようにした。
		(2)避難訓練・交通安全指導を計画に基づいて適切に実施しているか。	○			
		(3)健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。	○			

研究・研修	所内研究・研修	(1)研究主題は、保育目標の具体化につながるものであるか。		○			<ul style="list-style-type: none"> ・ 所内研修は、法人3施設の主任保育士と研修担当者で会議を持ち年間計画を作成し、その計画に基づいて研修担当者が運営している。 ・ 法人内合同研修会については、リズム研修を2回講師を呼んで、補助の仕方など学べたし、対面での研修に手ごたえを感じることができた。2月には各園正規職員とも場面記録を提出し、グループに分かれて実践の検討を行うことでより深めることができた。
		(2)所内研修の計画・運営は適切か。	○				
		(3)研究の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させているか。	○				
		(4)研究の実践による乳幼児理解が深まっているか。	○				
研究・研修	所外研究・研修	(1)各種研究会・研修会、講習会への参加体制の充実を図っているか。	○				<ul style="list-style-type: none"> キャリアアップ研修については、対面式の研修も開催されたので、職員を派遣することができた。また、その他の研修会についても、ウェブ研修などで正規職員全員が交代で参加できるように配慮していった。
		(2)各種研究会・研修会、講習会での内容を所内に還元しているか。	○				<ul style="list-style-type: none"> ・ 外部の研修に参加した場合は報告書を提出し、職員会議にて報告し伝えている。
項目	内 容		評 価				意見・改善策
			A	B	C	D	
情報について	(1)乳幼児や保護者に関する個人情報を的確に取り扱っているか。	○					<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童表や健診表等の表簿については、それぞれにファイルにとじ、事務室の決まったところに保管している。 ・ 公文書については、園長が必ず目を通し、必要な処理を行っている。 ・ 個人情報が入っている書類等については、持ち出し禁止にしている。 ・ 各表簿類は、一定期間を過ぎれば処理をしています。
	(2) 公文書收受、発送、処理を適切に行っているか。	○					
	(3)各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理しているか	○					
施設・設備	(1)施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。	○					<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設内外の安全点検は計画に行い、改善が必要があれば、すぐに対処するようにしている。特に園庭の固定遊具については専門の業者に点検を依頼し、その報告に基づいて改善を行って ・ 遊具・用具等については、常に点検を行い破損しているものは処分し安全に遊べるように配慮をしている。 ・ 不審者対応についても、年1回の訓練を行っているが、警察などのアドバイスをうけたうえでの、訓練の在り方が必要。
	(2)遊具・用具等を活用しやすいように整理・保管しているか。	○					
	(3)不審者に対する周到的な配慮を行っているか。						
	(4)掲示板・掲示場所などを適切かつ効果的に処理されているか。	○					
出納経理	(1)各種会計を適切かつ適切に処理しているか	○					<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎月定例会議において、築地方向所に基づいて執行状況を検討し、必要に応じて予算の見直しを行うなど、予算のと乖離がないように努めている。

開かれた保育所づくり	施設間交流・連携	(1)他施設などとの年間交流計画は、保育目標や課題に沿ったものとなっているか。			○	<p>・今年度は、法人内の年長児による交流については、今までWEBで行っていたが、コロナ感染症も5類になったので今年度からは3回交流することができた。などの交・近隣小学校5年生・中学2年生との交流も復活し、地域の小中学校との交流園児にとっても楽しい取り組みだった。・ここ数年卒園児との交流もできていなかったのので、今年度は担当を決めて、2.1年生を招待して年長児との交流を行った。卒園児保護者からも大変喜ばれた。</p> <p>・小学校への授業参観には、積極的に参加し、卒園児の情報交換をしている。</p> <p>・保幼小連携協議会にも参加し情報交換を行っている。</p>
		(2)他施設などの幼児・児童生徒と触れ合う中で、(乳)幼児が楽しく過ごし充実間味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。			○	
		(3)指導者同士が打ち合わせや事前研修・合同研修を行い、互いの保育・教育に対する理解を深め、援助について共通理解を図っているか	○			
		(4)参観や保育・授業などに参加するなどして、小学校の教育の教育を理解しているか。	○			
		(5)日常的に情報を交換し、それを交流活動に生かしているか。	○			
家庭・地域社会との連携	(1)保護者以外も対象にした参観日などを設定しているか。			○	<p>・コロナ感染症が5類となっても、コロナ感染者が出てきているので、保護者以外を対象にした参観日は行わなかった。</p> <p>・今年度も、夏祭り、運動会、七夕、伝承遊び、お茶会等地域の方を招待しての行事は取り組みなかった。</p> <p>・青少年育成委員会主催の子育て講演会「親子で遊ぼう」の取り組みに積極的に園として参加し、親子で楽しめた。</p>	
	(2)保護者を含む地域の人材活用時期・内容は適切か。			○		
	(3) (乳)幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。			○		
	(4)地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。			○		
項目	内容	評価				意見・改善策
		A	B	C	D	
開かれた保育所づくり	子育て支援の推進	(1)地域の子育てセンターとして、園庭や中庭、保育室などを開放しているか			○	<p>・地域の方が保育園に気軽に来れるように園庭を開放していたが、今年度もコロナ感染対策で、入園を希望されている見学者のみを受け入れてきた。</p> <p>・職員による「子育て相談」は、個人懇談なども受けて、保護者の子育ての悩みや園に対する要望なども聞いて、園運営に反映させている。</p> <p>・支援が必要な児童・保護者に対しては、関係機関と連携しながら、アドバイスや、情報共有をしながら支援につなげている。</p>
		(2)地域に住む子供同士、あるいは親子が一緒に遊ぶことができるような場を設定を行っているか			○	
		(3)「子育てについて」等、保護者を対象とした学習の機会設定しているか。			○	
		(4)職員による育児にかかる「子育て相談」は充実しているか。		○		
	(5)医療機関、児童相談所などの専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。		○			
情報	(1)保育園便り・クラス便り、ホームページなどで施設の情報を発信しているか。	○			<p>・毎月、園・クラスだよりを発行し、ホームページも定期的に更新している。</p>	

の 発 信	(2)行事や子育て支援事業を、地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。		○		<ul style="list-style-type: none"> ・ 行事などはコロナの感染状況を踏まえて、地域の児童施設や小学校への働きかけはできていない。
外 部 評 価	(1)地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか。		○		<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者会役員会を開催してもらい、保護者の意見・要望を聞いて、必要があれば運営に反映している。今年度は、子育て後援会を保護者会主催で開催することができ、参加も20人くらいで、子どもの性教育について貴重な話を聞くことができた